

総合展示会に参加して

1年生 澤 華楓

長島愛生園の総合展示会が10月31日～11月4日まで開催され、私たち学生も出展しました。今年は「思い出と宝物」というテーマで、私たちは「長島神社の祠と、長島神社に続く岩浜の道と手影島」を制作しました。手影島にある長島神社は1937年に入所者の方々が山を開き、石を積み建てられた園内で最初の宗教施設です。建設から完成に至るまでの経過を入所者の方々の思い出として語り継がれ、完成後は厳しい隔離生活を耐え抜くための心のよりどころとなっていたそうです。また毎年看護学校では、潮が引いた岩浜の道を渡って長島神社を参詣し、看護師国家試験合格祈願を行っており、卒業生の思い出にもなっています。



作品の制作時期が実習と重なっていましたが、限られた時間の中で、できる限り実物に近づくができるように細かい部分にこだわり、納得のいく作品を制作する事ができました。また制作を通して、クラスメイトや先輩と話す機会が増え、仲を深めていくことができて嬉しかったです。

展示品には、ご夫婦や友人たちと日本全国を旅行された大切な思い出の記念品や写真がありました。会場の一角には、来場された入所者の方の思い出を書き留める「思い出の樹」があり、優しい旦那さんとの思い出が宝であると記されており感動しました。また展示された詩や写真から、故郷の家族を思う内容や、隔離されていた生活の中でどのように過ごされていたのかを知ることもできました。愛生園の看護学生として歴史的背景を忘れず、入所者の方が大切にしてきた思い出を受け止めて、看護を行いたいと思います。

